

VI 教育内容

1. 教養科目〔共通科目〕

科目名	教養講座	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標： 社会常識や一般教養に関する学習を通して、社会の変化に対応できる社会人としての基礎的教養を身につける。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講義	演習	実験	実習	
1	社会常識	(1) 社会人としての一般教養	4				
		(2) 社会人としての常識	2				
2	一般教養	(1) 社会の諸問題解決に向けて	4				
		(2) 地域の歴史や文化の理解	6				
使用教材： 自主教材、新聞等							
評価の要素： 学習態度、レポート、提出物等							

科目名	英会話 I	区分	必修	単位	2	総時間	32
学科	全			学年	1		
到達目標： 基礎的な英会話能力を高め、初歩的な日常会話ができるようにする。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講義	演習	実験	実習	
1	英会話の基礎	(1) 自己紹介	8				
		(2) 文の構成	8				
2	会話の基本表現	(1) 日常会話	16				
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、試験							

科目名	人間と社会	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標： 人間の成長過程における心理形成やその変化、社会における個々の役割等を理解し、自己をみつめ、円滑な社会生活ができるようにする。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講義	演習	実験	実習	
1	心理形成と変化	(1) 青年心理	4				
		(2) 自我と性格特性	2				
2	共同社会における個々の役割	(1) 対人関係と連帯性	4				
		(2) 社会態度	4				
3	文章作成について	(1) 文章構成のポイント	2				
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、提出物（レポート）等							

科目名	体育 I	区 分	必修	単 位	2	総時間	32
学 科	全			学 年	1		
到達目標：運動技能の向上を図り、健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 スキー錬成、各種スポーツの企画と実践	(1) スキー・スノーボード教室 (2) 体育祭 (3) 球技大会 (4) 健康増進等	講 義	演 習	実 験	実 習	
					16 4 8 4		
使用教材：							
評価の要素：学習態度・意欲							

科目名	英会話 II	区 分	必修	単 位	2	総時間	32
学 科	全			学 年	2		
到達目標：実践的な英会話能力を高め、日常の英会話表現を習得する。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 実践的な英会話能力	(1) 英会話の実践 (2) 日常英会話表現	講 義	演 習	実 験	実 習	
					16 16		
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、試験							

科目名	暮らしと社会経済の動向	区 分	必修	単 位	1	総時間	16
学 科	全			学 年	2		
到達目標： 経済・社会経済・農村社会について理解し、社会人として義務や役割に対する意識の高揚を図る。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 各種社会制度について	(1) 労働・社会保険について (2) 税金のはなし (3) 金融・家計管理の基礎	講 義	演 習	実 験	実 習	
	2 農村社会と文化	(1) 地域文化と歴史			4		
	3 就農・就職前の心構え	(1) 社会人の基礎知識、マナー			4		
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、提出物（レポート）等							

科目名	体育Ⅱ	区分	必修	単位	2	総時間	32
学科	全			学年	2		
到達目標：運動技能の向上を図り、健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図る。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 スキー錬成、各種スポーツの企画と実践	(1) スキー・スノーボード教室 (2) 体育祭 (3) 球技(野球・バレーボールほか) (4) 健康増進等	講義	演習	実験	実習	16 4 8 4
使用教材：							
評価の要素： 学習態度・意欲							

科目名	英語Ⅰ	区分	選択	単位	2	総時間	32
学科	全(進学コース)			学年	1		
到達目標：英語の運用能力を向上させるとともに、4年制大学3年次編入試験を突破できる英語力を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 英語に必要な語彙と文法 2 「読む」・「聞く」を中心とした英語運用	(1) 基本文法と構文の習得 (1) 実際の場面を想定したリスニング力の向上 (2) 速読速解の読解力養成	講義	演習	実験	実習	12 20
使用教材： 自主教材、TOEIC問題等							
評価の要素： 文法解釈や長文解釈の理解度、学習態度・意欲、提出物、小テスト等							

科目名	ビジネス基礎講座Ⅰ	区分	選択	単位	2	総時間	32
学科	全(法人就農コース、就職コース)			学年	1		
到達目標：適切な進路選択のために適性等の自己分析を深めるとともに、就職試験に必要な資質・能力の育成を図る。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 自己分析	(1) オリエンテーション (2) 自己の能力と適性 (3) 自己PRの作成	講義	演習	実験	実習	4
	2 就職試験を知る	(1) 就職試験の実際と必要な能力					2
	3 就職活動の流れを知る	(1) 就職情報の集め方 (2) 就職活動講座 (3) 社会人に必要な知識					8
	4 筆記試験対策又は農業法人について(コース別学習※)	(1) 一般常識問題について (2) SPIについて (3) 適性検査について (4) 農業法人について学ぶ					(12) (12)
5 作文と面接試験対策	(1) 作文の構成について (2) 面接試験の実際(面接練習) (3) 経営者の視点とは					6	
使用教材： SPI問題集、一般常識問題集、自主教材等							
評価の要素： 学習態度、意欲、提出物、小テスト等							

※ 法人就農コース選択者は就農コースの講義を受講する。

科目名	就農講座Ⅰ	区分	選択	単位	2	総時間	32
学科	全(就農コース)			学年	1		
到達目標： 農業を担う地域社会のリーダーに相応しい基本的な知識を習得する。また、自家の農業経営を把握する。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講義	演習	実験	実習	
	1 農政時事 2 農地制度・農業法規	(1) 農政の展開方向(国・県) (1) 農地制度と農政 (2) 農業委員会制度 (3) 農地法、農業経営基盤強化促進法	6 2				
	3 農業協同組合 4 市場・流通	(1) 農業協同組合の歩みと事業概要 (1) 農産物市場・流通について	4 2				
	5 農家と農業経営	(1) 農家と農業経営、経営の把握 (2) 先進農業経営等の講義・視察等*	10 8				
使用教材：							
評価の要素： 筆記試験、レポート、学習態度等							

※ 就農コース選択者と法人就農コース選択者合同の講義

科目名	英語Ⅱ	区分	選択	単位	1	総時間	16
学科	全(進学コース)			学年	2		
到達目標： 大学等の高度な研究で必要とされる英語読解力や運用力を養い、4技能(話す、聞く、書く、読む)の総合的な強化を図る。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講義	演習	実験	実習	
	1 長文読解	(1) 正確な英文内容把握と要約等	8				
	2 応用表現	(1) 実用的表現の習得と運用	8				
使用教材： 自主教材、TOEIC問題等							
評価の要素： 文法解釈や長文読解の理解力、学習態度・意欲、提出物、小テスト等							

科目名	ビジネス基礎講座Ⅱ	区分	選択	単位	1	総時間	16
学科	全(就職コース、法人就農コース)			学年	2		
到達目標： 就職試験に臨むにあたり、就職活動を効果的に行うための知識や技能を身に付けさせることで、進路希望の早期達成を図る。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講義	演習	実験	実習	
	1 就職試験に臨むにあたって	(1) 就職試験の概要とその心構え	2				
	2 履歴書作成について	(1) 履歴書の書き方と自己PR文の作成	4				
	3 筆記試験対策	(1) 一般常識試験対策	4				
	4 作文と面接試験対策	(2) S P I 試験対策 (1) 作文試験対策	4				
	5 社会人としてのマナー	(2) 面接試験対策 (1) ビジネスマナーについて	2				
使用教材： S P I 問題集、一般常識問題集、自主教材等							
評価の要素： 学習態度、意欲、提出物、小テスト等							

科目名	就農講座Ⅱ	区 分	選択	単 位	1	総時間	16	
学 科	全（就農コース）			学 年	2			
到達目標： 農業を担う地域社会のリーダーに相応しい基本的な知識を習得する。また、就農計画を作成する。								
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態			
			講 義	演 習	実 験	実 習		
1 農業法人制度	(1) 農業法人制度の概要	2						
2 就農支援制度について	(1) 就農支援制度	2						
3 就農計画について	(1) 就農計画の作成	2	8					
4 就農計画発表会	(1) 就農計画の発表、質疑応答、助言		2					
使用教材：								
評価の要素： レポート、学習態度、提出物、発表態度・内容等								

2. 専門科目

(1) 共通科目（全学科共通）

科目名	農林業と経営管理基礎	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標：農林業経営者として必要な経営管理に関する知識を習得し、経営者としての資質と能力を高める。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 経営管理の基礎	(1) 経営体の組織と形態、経営計画 PDCAサイクル、経営戦略等 (2) 農林産物流通等			講義 12 4	演習	実験 実習
使用教材：							
評価の要素：学習態度、試験、レポート等							

科目名	農林業生産概論	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標：農林業生産（稲作・園芸・畜産、林業）に関する基礎的な概要（知識・技術）を理解する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 農林業の基礎 2 稲作生産の基礎 3 果樹生産の基礎 4 野菜生産の基礎 5 花き生産の基礎 6 畜産の基礎 7 林業の基礎	(1) 山形県の農林業の特徴 (1) 稲作栽培の特徴 (1) 果樹栽培の特徴 (1) 野菜栽培の特徴 (1) 花き栽培の特徴 (1) 畜産生産の特徴 (1) 林業生産の特徴			講義 4 2 2 2 2 2 2	演習	実験 実習
使用教材：							
評価の要素：学習態度・意欲、提出物等							

科目名	農業簿記Ⅰ	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標：経営管理の基本的知識である単式簿記の原理と記録、記帳の基礎を習得させ、農業簿記Ⅱで複式簿記を学ぶ仕訳までの土台をつくる。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
	1 単式簿記と農業会計	(1) 簿記記帳の必要性 (2) 収益・費用 (3) 資産・負債・資本 (4) 貸借対照表と損益計算書 (5) 仕訳 (6) まとめ			講義 2 2 2 2 4 4	演習	実験 実習
使用教材：農業簿記テキスト、演習問題等							
評価の要素：小テスト、学習態度、出席状況							

科目名	農業簿記Ⅱ	区 分	必修	単 位	1	総時間	16
学 科	全			学 年	1		
到達目標： 複式簿記の原理と記帳法、決算手続等を農業経営に即して体系的に学習させ、経営管理に必要な知識と能力を養う。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講 義	演 習	実 験	実 習	
1 複式簿記と農業会計		(1) 農業簿記の概要	2				
		(2) 簿記一連の手続き	2				
		(3) 勘定科目	2				
		(4) 元帳転記	2				
		(5) 試算表	2				
		(6) 精算表(決算)	2				
		(7) 決算書の作成	2				
		(8) まとめ	2				
使用教材： 農業簿記テキスト、演習問題等							
評価の要素： 筆記試験、学習態度、出席状況、演習の提出状況							

科目名	スマート農林業Ⅰ	区 分	必修	単 位	2	総時間	32
学 科	全			学 年	1		
到達目標： 農業の労働力不足や大規模経営に対応するため、水稲及び施設利用型作物のスマート農業について体系的に学び、実装技術を理解する。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講 義	演 習	実 験	実 習	
1 スマート農林業について		(1) スマート農業の最新事情	2	2			
		(2) 農地利用作物のスマート技術活用		4			
		(3) 施設園芸の最新技術		4			
		(4) I T管理ツールの活用		4			
		(5) アプリを活用した動画作成	4	8			
		(6) パソコン等の基本操作	2	2			
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、演習成果、提出物(レポート)等							

科目名	農林業・環境・GAP講座	区 分	必修	単 位	1	総時間	16
学 科	全			学 年	1		
到達目標： 農林業と環境の関わりや環境保全機能、農林業における環境問題等を理解する。GAP制度の概要について学び、認証取得によるメリットやGAP取組みによる経営効果等について理解する。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態				
			講 義	演 習	実 験	実 習	
1 GAP(農業生産工程管理)について		(1) GAPの概要と意義	14	2			
		(2) GAP認証の実際					
2 農林業と環境について		(1) 環境保全型農業の定義					
		(2) 持続性の高い農業生産方式と					
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、提出物(レポート)、小テスト等							

科目名	マーケティング基礎	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標： マーケティングの基本的な知識を習得し、農林業経営におけるマーケティングの重要性を理解するとともに、マーケティングを取り入れた経営改善手法について学ぶ。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態			
				講義	演習	実験	実習
	1 マーケティング概要	(1) マーケティング概念の理解 (2) 市場選択、市場リサーチ (3) マーケティングミックス		4			
	2 ビジネスゲーム	(1) 戦略づくり (2) 実績把握			8		
	3 ビジネスゲームの振り返り	(1) 経営分析 (2) 発表		4			
使用教材： 農トレ							
評価の要素： 学習態度、筆記試験、レポート							

科目名	6次産業化	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標： 農林業における6次産業化の基礎と方策を理解するとともに、自らのビジネス構想の錬成を図る。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態			
				講義	演習	実験	実習
	1 6次産業化について	(1) 6次産業化の概要 (2) 6次産業推進施策等について		4			
	2 6次産業化への地域戦略	(1) フードシステムと6次産業化 (2) SWOT分析によるビジネス構想		2 2	4		
	3 農産加工の基礎	(1) 農産加工の実際と原料供給			4		
使用教材：							
評価の要素： 筆記試験、学習態度・意欲、提出物等							

科目名	卒業論文計画	区分	必修	単位	4	総時間	64
学科	全			学年	1		
到達目標： 中間検討会、卒業論文発表会を通して専門的なプロジェクト学習についての理解を深め、優れた卒業論文計画を作成する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態			
				講義	演習	実験	実習
	1 卒業論文研究について	(1) 中間検討会 (2) 卒業論文発表会			8 16		
	2 卒業論文計画作成	(1) 課題の抽出、選定 (2) ねらい、到達目標の設定 (3) 調査・作業計画の作成 (4) 卒業論文計画発表会			8 8 16 8		
使用教材：							
評価の要素： 発表内容、学習態度、提出物							

科目名	特別講義 I	区 分	必修	単 位	1	総時間	16
学 科	全			学 年	1		
到達目標： 農林業、食品等の関連分野において、県内外で活躍する実践者等の講義を通して学生の見聞を広げるとともに、キャリア形成に関する意識の向上を図る。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
		講義	演習	実験	実習		
1 農林業・食料・食産業等の各種講演会	(1) 全国の優良農林業経営者の講話 (GAP、働き方改革、SDGsなど) (2) 全国の優良農林業経営者の講話 (3) 全国の優良農林業経営者の講話 (4) 全国の優良農林業経営者の講話	4					
使用教材： 評価の要素： 出席状況、学習態度、レポート等							

科目名	財務管理	区 分	必修	単 位	2	総時間	32
学 科	全			学 年	2		
到達目標： 農林業経営者としての資質と能力の向上を図るため、利益構造や損益分岐点、農林業金融等について学ぶ。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
		講義	演習	実験	実習		
1 損益計算書と貸借対照表	(1) 利益の仕組みについて理解する (2) 費用、原価、付加価値について理解する (3) 利益率、回転率について学習する	12					
2 損益分岐点	(1) 損益分岐点について理解する (2) 安全率や目標売上高について学習する	12					
3 農林業金融	(1) 農林業金融の概要	8					
使用教材： かんき出版「はじめての人の決算書入門塾」ほか 評価の要素： 筆記試験、レポート、学習態度等							

科目名	海外農林業	区 分	必修	単 位	1	総時間	16
学 科	全			学 年	2		
到達目標： 山形県産物の輸出の現状および将来の展望について理解を深めるとともに、姉妹州である米国コロラド州を中心に海外の生活文化や農林業の現状についても学ぶ。							
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
		講義	演習	実験	実習		
1 山形県の海外戦略について	(1) 山形県の国際交流事情について (2) 山形県産物の輸出の現状	2					
2 米国コロラド州について	(1) 米国コロラド州について (2) コロラド州の農林業について (3) 海外研修について(先輩からの講話)	4	6	2			
使用教材： 自主教材 評価の要素： 受講態度、意欲、レポート							

科目名	マーケティング実践	区分	必修	単位	1	総時間	40
学科	全			学年	2		
到達目標： 農大市場の販売活動をベースに、実際にマーケティング活動に取り組み、データの収集・分析、販売管理、販売組織づくり等について学ぶ							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
			講義	演習	実験	実習	
1 農大市場でのマーケティング実践		(1) 農大市場 1		6			
		(2) 農大市場 2		6			
(3) 農大市場 3			6				
(4) 農大市場 4			6				
2 販売組織の基礎知識	(1) 販売組織と計画づくり		4				
	(2) 商品開発とブランド化		4				
	(3) POP作成と販売ポイント		4				
	(4) 農大市場運営の改善について		4				
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 研修態度、意欲、提出物（レポート等）							

科目名	スマート農林業Ⅱ	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	2		
到達目標： 専攻の特徴に応じたスマート農業について、より専門的な技術習得と現場導入における効果について理解する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
			講義	演習	実験	実習	
1 スマート農林業について		(1) 分野の特徴に応じた実例 1		4			
		(2) 分野の特徴に応じた実例 2		4			
		(3) 分野の特徴に応じた実例 3		4			
		(4) 分野の特徴に応じた実例 4		4			
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、提出物（レポート）等							

科目名	農林業への県民理解	区分	必修	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	2		
到達目標： 食育に関する基礎知識、農林業とその地域社会に住む人との関わりや意義について理解を深める。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態		
			講義	演習	実験	実習	
1 農林業と地域社会について		(1) 地域社会における農林業	4				
		(2) 県民参加の森づくり	2				
2 農業と食との関係について		(1) 食生活と農林業	2	6			
		(2) 農業と食との結びつき (食育実践家による授業)	2				
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、提出物（レポート）等							

科目名	卒業論文	区分	必修	単位	14	総時間	224	
学科	全			学年	2			
到達目標：専攻実践学習等で体得した専門知識、技術の集大成として、専攻プロジェクトを総括す ることにより、自己解決能力を醸成し、我が家の経営設計を描くことで経営者としての 能力を養う。								
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態			
			講義	演習	実験	実習		
	1 調査研究手法の習得	(1) 調査・観察手法の習得		8				
	2 調査	(2) 耕種・作業計画の遂行と確認		32				
	3 結果の分析と評価・考察	(1) 調査、データ収集		40				
		(2) データの分析		32				
		(1) 資料の収集		16				
		(2) 考察、取りまとめ		32				
		(1) 中間検討会		8				
		(2) 外部の評価、地域への貢献		8				
		(3) 卒業論文発表会		16				
		(4) 卒業論文作成		32				
使用教材：								
評価の要素： 取り組み態度、発表での評価等								

科目名	特別講義Ⅱ	区分	必修	単位	1	総時間	16	
学科	全			学年	2			
到達目標：農林業、食品等の関連分野において、県内外で活躍する実践者等の講義を通して学生の 見聞を広げるとともに、キャリア形成に関する意識の向上を図る。								
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態			
			講義	演習	実験	実習		
	1 農林業・食料・食産業等の各種講演会	(1) 全国の優良農林業経営者の講話 (GAP、働き方改革、SDGsなど)	4					
		(2) 全国の優良農林業経営者の講話	4					
		(3) 全国の優良農林業経営者の講話	4					
		(4) 全国の優良農林業経営者の講話	4					
使用教材：								
評価の要素： 出席状況、学習態度、レポート等								

科目名	応用英語Ⅰ	区分	自由選択	単位	1	総時間	16	
学科	全			学年	1			
到達目標：英語の読解力等を身につけ、4年制大学3年次編入試験に対応できるようにする。								
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態			
			講義	演習	実験	実習		
	1 食料・農林業等に関する英文理解	(1) 実践的な英語表現の理解 (TOEIC対策の強化)	16					
使用教材： 自主教材、TOEIC問題等								
評価の要素： 英文の理解力、学習態度・意欲、提出物等								

科目名	販売管理	区分	自由選択	単位	2	総時間	32
学科	全			学年	1		
到達目標： 小売業における販売、マーケティング、経営管理について理解する。日商「販売士3級」資格取得に役立てる。(3級試験の「販売・経営管理」の試験免除になる)							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態			
				講義	演習	実験	実習
	1 小売業の種類 2 マーチャンダイジング 3 ストアオペレーション 4 マーケティング 5 販売・経営管理	日商「3級販売士養成講習会」		32			
使用教材： 日商「3級販売士養成講習テキスト」							
評価の要素： 学習態度・意欲、試験等							

科目名	毒物・劇物資格講座	区分	自由選択	単位	1	総時間	16
学科	全			学年	1		
到達目標： 農産物や森林の樹木に関連する病虫害の防除薬剤について、安全性評価や適正使用・防除の方法、及び薬剤の管理方法等を学び、併せて毒物劇物取扱者資格の取得を目指した基礎学習を行う。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態			
				講義	演習	実験	実習
	1 基礎化学	(1) 原子と分子、イオン (2) 酸とアルカリ (3) 酸化・還元 (4) 有機化合物		4			
	2 毒物及び劇物に関する法規	(1) 毒物・劇物取締法の目的、定義 (2) 毒物劇物営業者の登録・販売 (3) 毒物および劇物の取扱い・運搬 (4) 毒物劇物の譲渡・破棄・回収		6			
	3 貯蔵と取扱い	(1) 毒物劇物の性質・貯蔵(一般) (2) 毒物劇物の性質・貯蔵(農薬用品目) (3) 毒物劇物の性質・貯蔵(特定品目) (4) 農産物・森林病虫害の農薬による防除方法		6			
使用教材： 自主教材							
評価の要素： 学習態度・意欲、試験等							

科目名	情報発信とネットビジネス	区 分	自由選択	単 位	1	総時間	16	
学 科	全			学 年	1			
到達目標： ネットショップの開設を通して、自身の経営コンセプトや消費者へのアピールポイント等を整理し、効果的に情報発信する方法・知識を習得する。								
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態			
	1 ネットショップ開設による情報発信	(1) 発信に向けた情報の整理 (2) 消費者にアピールできるページ作り (3) ネットショップ開設・運営と相互評価			講 義	演 習	実 験	実 習
					4	8	4	
使用教材： 自主教材								
評価の要素： 学習態度・意欲、演習成果、提出物等								

科目名	応用英語Ⅱ	区 分	選択	単 位	1	総時間	16	
学 科	全			学 年	2			
到達目標： 英語の読解力等を身につけ、4年制大学3年次編入試験に対応できるようにする。								
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態			
	1 食料・農林業等に関する英文理解	(1) 実践的な英語表現の理解 (TOEIC対策の強化)			講 義	演 習	実 験	実 習
					16			
使用教材： 自主教材								
評価の要素： 英文の理解力、学習態度・意欲、提出物等								

科目名	農業機械実習Ⅱ	区 分	自由選択	単 位	1	総時間	40	
学 科	全			学 年	2			
到達目標： 大型特殊自動車（農耕用）及びけん引（農耕用）の運転操作を学び、農作業安全操作技術を習得する。								
指 導 内 容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態			
	1 農作業安全	(1) 農業機械の安全使用 (2) 公道走行における法規遵守			講 義	演 習	実 験	実 習
					2			
	2 農業機械の構造と点検・整備	(1) トラクター・けん引車の構造 (2) トラクター・けん引車点検整備						2 2
	3 運転技能	(1) 運転コース実技（基本操作） (2) 運転コース実技（応用操作） (3) けん引運転免許試験						8 20 4
使用教材： トラクター、けん引車								
評価の要素： 実技試験、学習態度、出席状況								